



# Technology X Open Innovation

2023年9月期 [第42期] 第2四半期決算補足資料

株式会社システムソフト

TYO : 7527

2023年5月12日

- 2023年9月期 第2四半期 決算概要
- 2023年9月期 第2四半期 セグメント毎の報告
- 2023年9月期 業績予想
- Appendix

2023年9月期 第2四半期  
**決算概要**

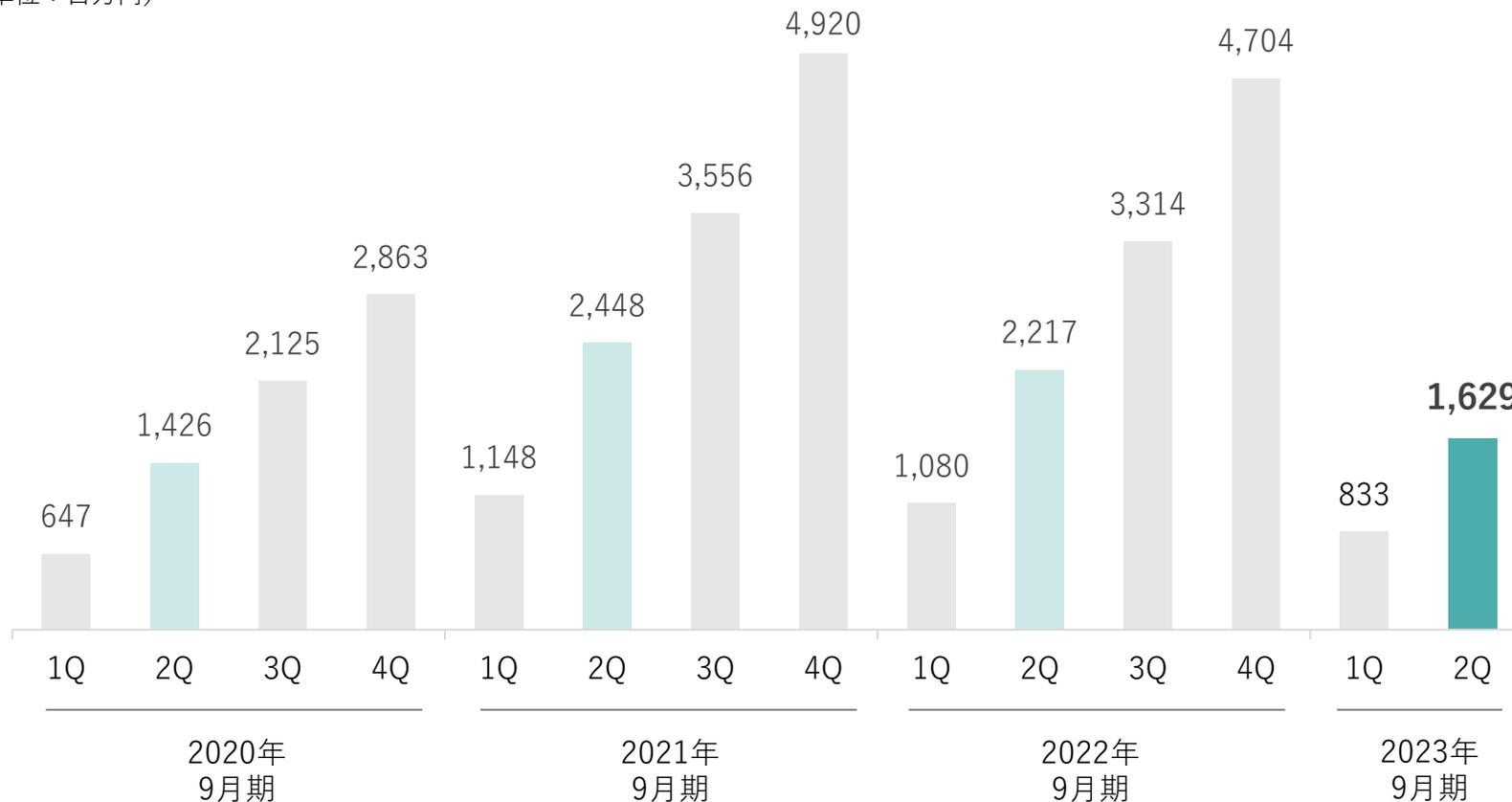
---

## 2Qで計上予定の案件について、下期へ後ろ倒し

(単位：百万円)	2022年2Q		2023年2Q		前年同期比
	額	率	額	率	
売上高	2,217	100%	1,629	100%	73.5%
売上総利益	446	20.1%	356	21.9%	79.9%
販売管理費	473	21.4%	413	25.4%	87.4%
営業利益	▲26	▲1.2%	▲57	▲3.5%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲54	▲2.4%	▲127	▲7.9%	-

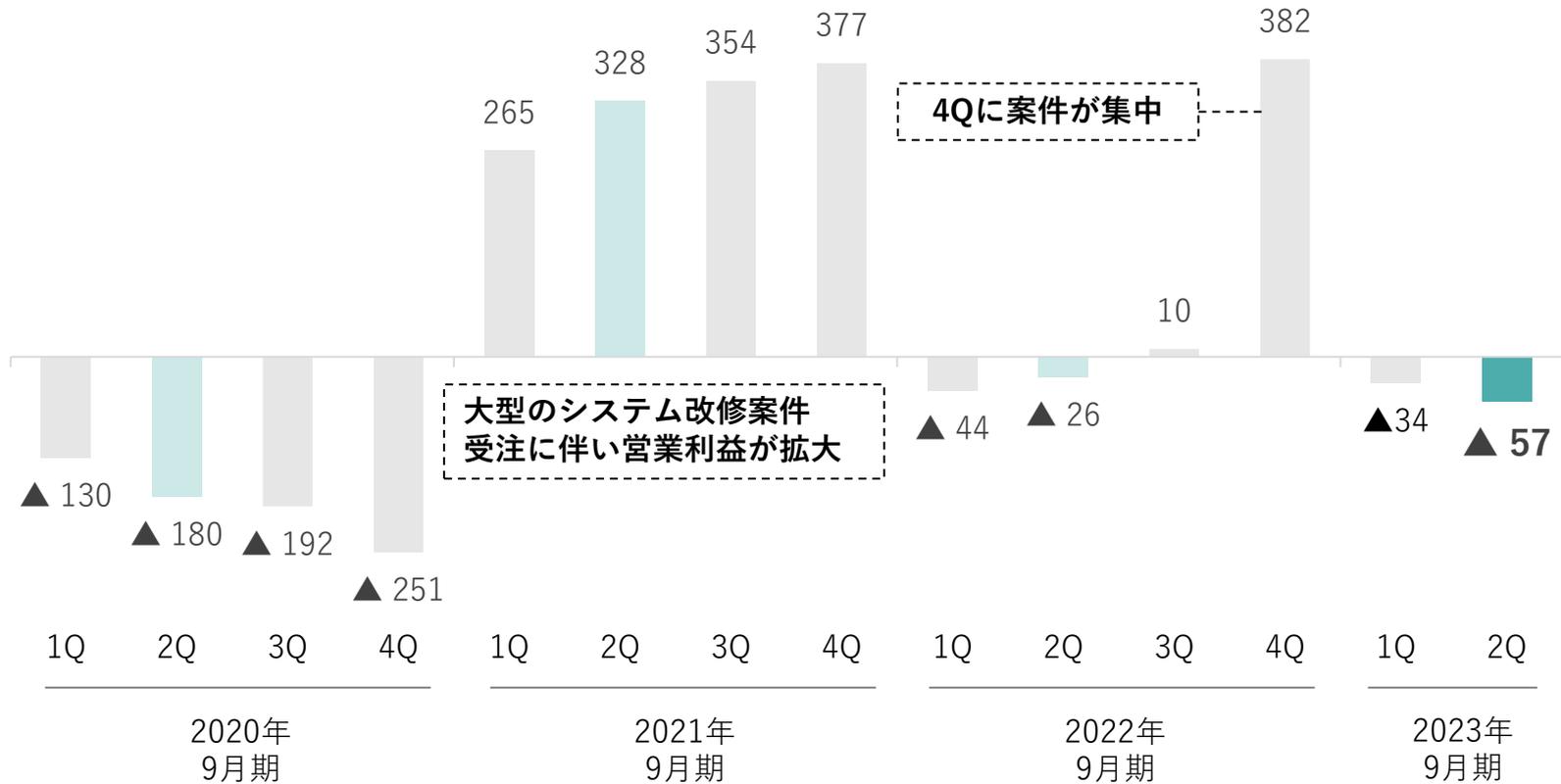
## システム開発における一部案件の契約内容変更、 コンサル案件の下期後ろ倒しにより売上高は前年同期比で減少

（単位：百万円）



## 売上高の減少に伴い、営業利益も減少

（単位：百万円）



# 貸借対照表

(単位：百万円)	2022年4Q	2023年2Q	増減
流動資産	3,994	3,412	▲582
固定資産	3,230	3,253	23
流動負債	775	594	▲181
固定負債	583	469	▲114
純資産	5,865	5,602	▲263
資本金	1,706	1,706	0
資本剰余金他	4,226	3,928	▲297
総資産	7,224	6,665	▲558

2023年9月期 第2四半期

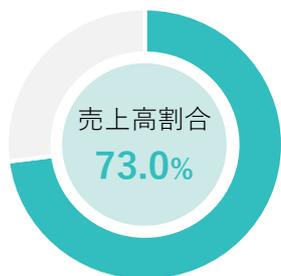
# セグメント毎の報告

---

## テクノロジー事業とオープンイノベーション事業の2本柱

### テクノロジー

不動産事業者向けSSクラウドシリーズや  
大手企業、公共向けのシステム開発を担う



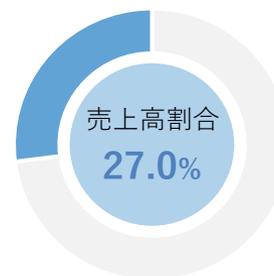
SaaS・RPA  
SSペイメント



システム開発・  
ソリューション

### オープンイノベーション

企業間連携によるエコシステムの創造や  
地方創生、ナレッジ共有に力を入れる

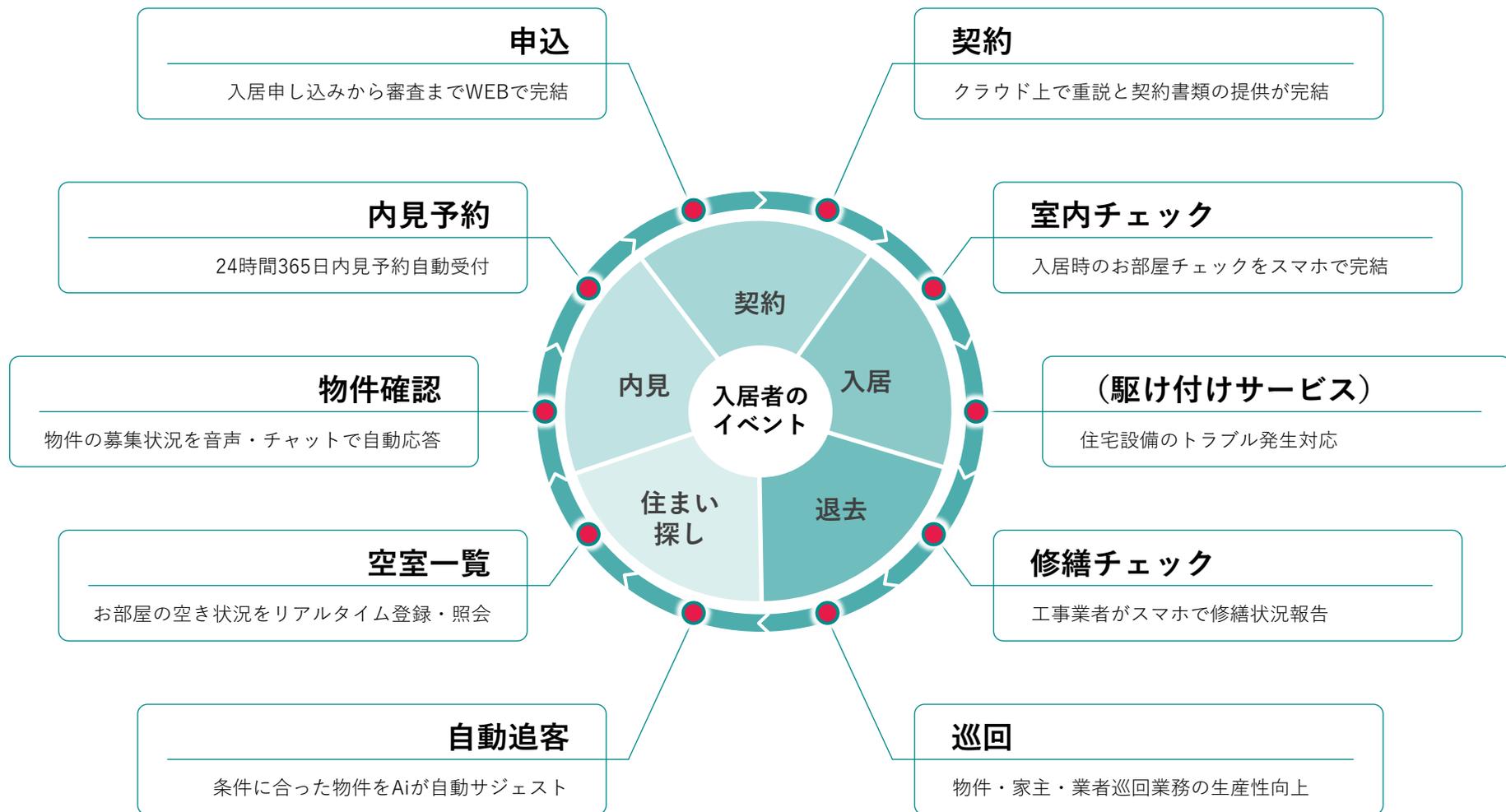


fabbit (DX連携)

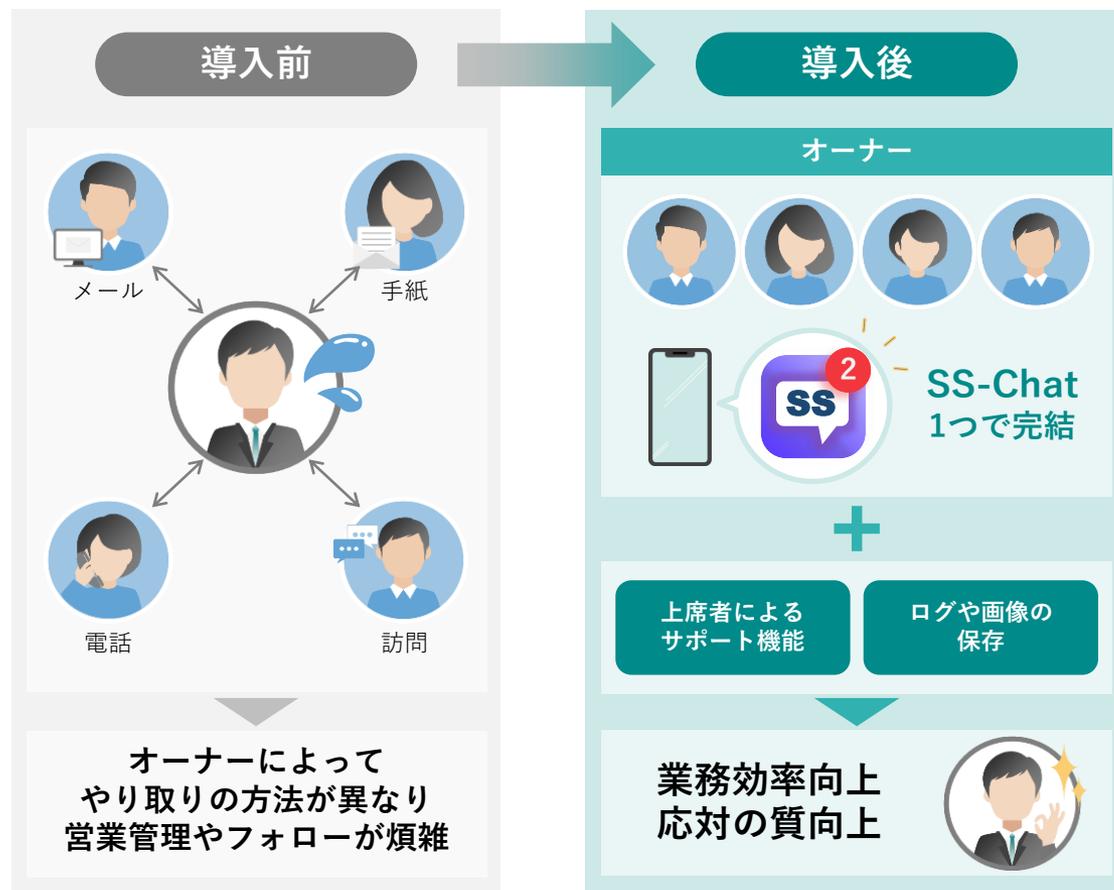


コンサルティング

## 不動産×テクノロジーの“リーテック”を推進



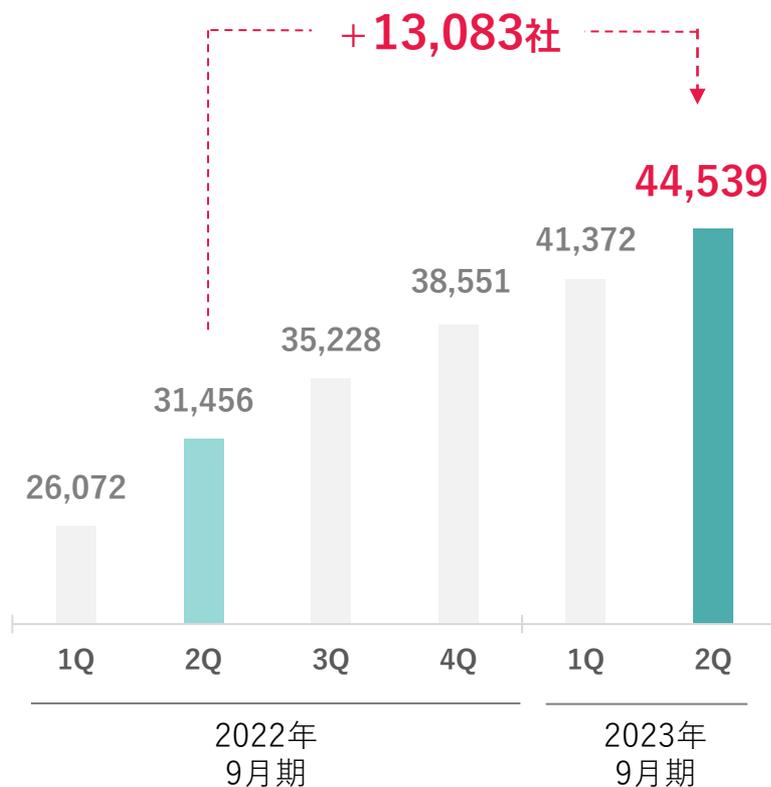
## SSクラウドシリーズに新しいラインナップを追加 不動産会社と顧客のコミュニケーション支援システム



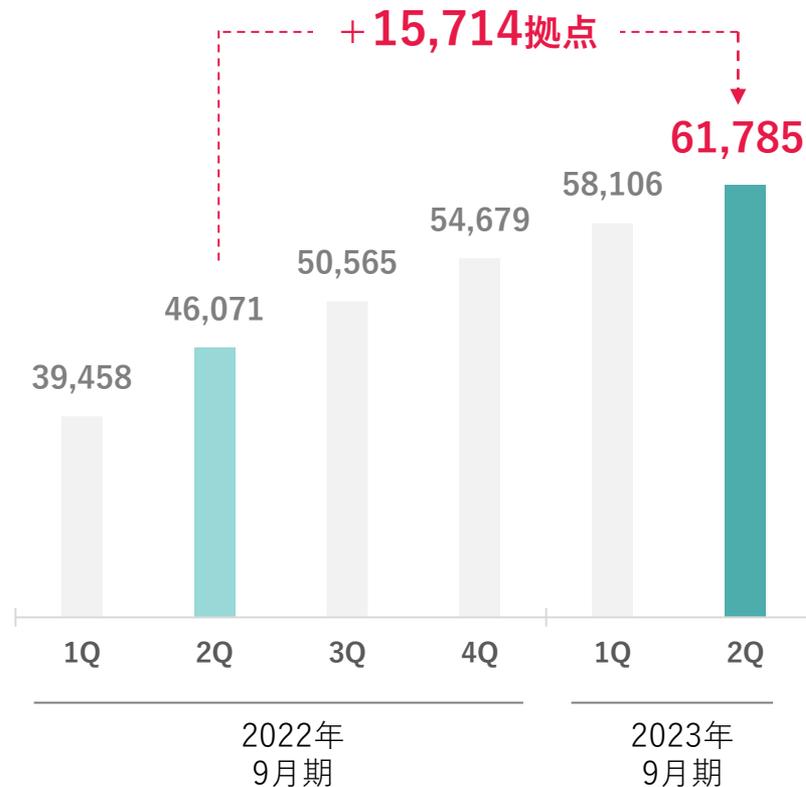
# SSクラウドシリーズ利用状況

積極的な営業活動により、日本最大級※の導入実績を実現  
一部の有償化により単月黒字化を達成

利用企業数（累計）

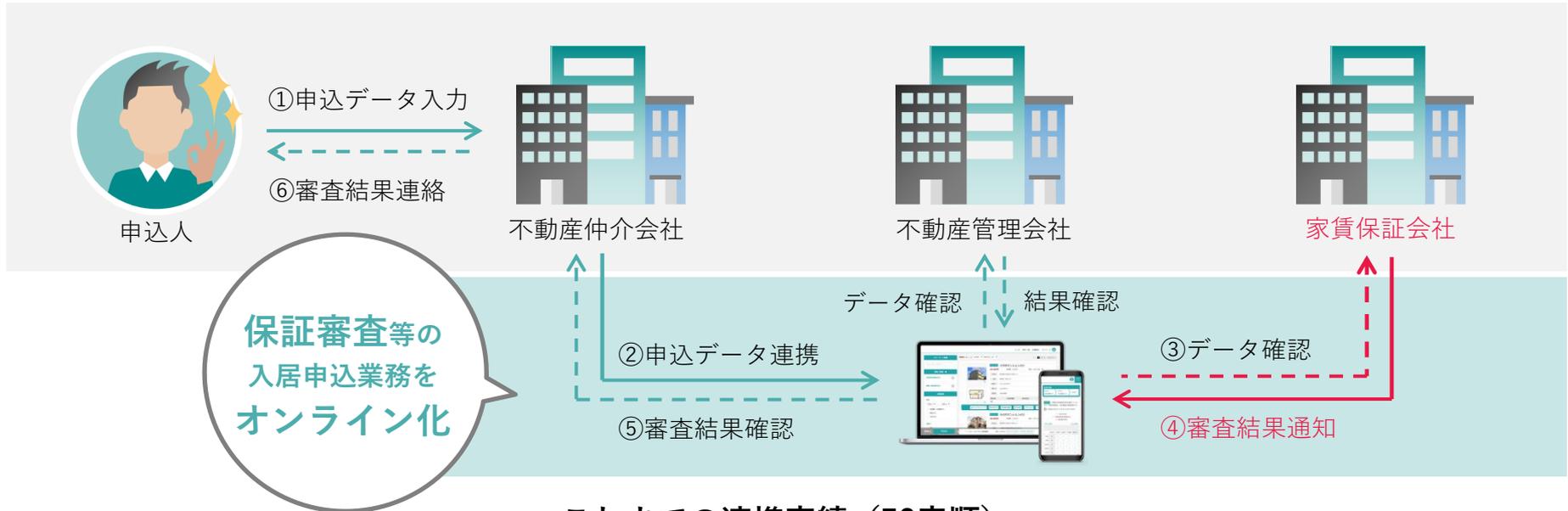


利用拠点数（累計）



「累計利用拠点数」は、クラウド毎の幹旋会社と管理会社の利用拠点数を単純に合計した数字です。（管理会社は、お申込みいただいた中で本店、支店、営業所、店舗をカウント）  
「累計利用企業数」は、クラウド毎の幹旋会社と管理会社の利用企業社数を単純に合計した数字です。  
※当社調べによる

## 「SKIPS」 連携実績は全 22 社に拡大中 不動産事業者のフィンテックを強力に推進



### これまでの連携実績（50音順）

- ・ アーク株式会社（岩手県）
- ・ あんしん保証株式会社（東京都）
- ・ 株式会社オリコフォレントインシュア（東京都）
- ・ ジェイリース株式会社（大分県）
- ・ 全保連株式会社（沖縄県）
- ・ 日本賃貸住宅保証機構株式会社（大阪府）
- ・ レスト・ソリューション株式会社（東京都）
- ・ 株式会社アプラス（大阪府）
- ・ 株式会社エポスカード（東京都）
- ・ 株式会社クレデンス（東京都）
- ・ 株式会社ジャックス（東京都）
- ・ 新日本信用保証株式会社（東京都）
- ・ ナップ賃貸保証株式会社（東京都）
- ・ ほっと保証株式会社（北海道）
- ・ 株式会社Casa（東京都）
- ・ 株式会社アルファー（鹿児島県）
- ・ エルズサポート株式会社（東京都）
- ・ 株式会社グローバルトラストネットワークス（東京都）
- ・ 株式会社全国賃貸保証（東京都）
- ・ 日本セーフティー株式会社（東京都）
- ・ 株式会社ラクーンレント（東京都）
- ・ 株式会社 JPMC ファイナンス（東京都）

## SSクラウドシリーズとの連携で さらに業務効率を向上させるサービスを展開

### 振込代行サービス

総件数（2021年9月期～2023年9月期2Q）

**400,345** 件



導入費用・月額費・口座開設不要  
振込手数料の大幅削減

### 口座振替サービス

総件数（2021年9月期～2023年9月期2Q）

**75,794** 件

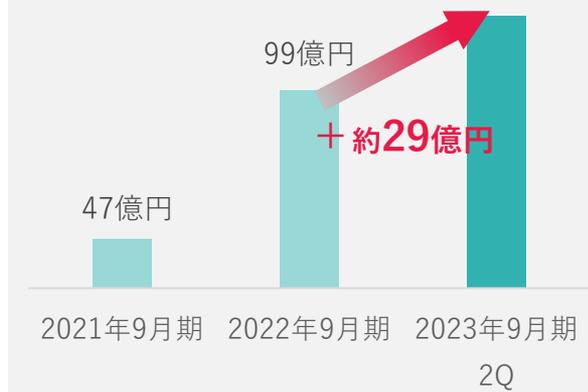


記載・押印ミスの確認不要  
口座振替にかかる手数料を大幅に削減

### クレジットカード 決済サービス

総決済金額（2021年9月期～2023年9月期2Q）

約 **128** 億円



不動産賃貸に関わる敷金や礼金など  
入居一時金をクレジットカードで  
決済するサービス

## アプラス社との連携により、借入人の負担を軽減する 入居一時金WEBクレジットサービスを開始

従来

一度にまとまった  
資金が必要



敷金・礼金等の一時金が大きな負担  
賃貸契約を躊躇うケースも

BunChinPay

最大  
36回払いが可能



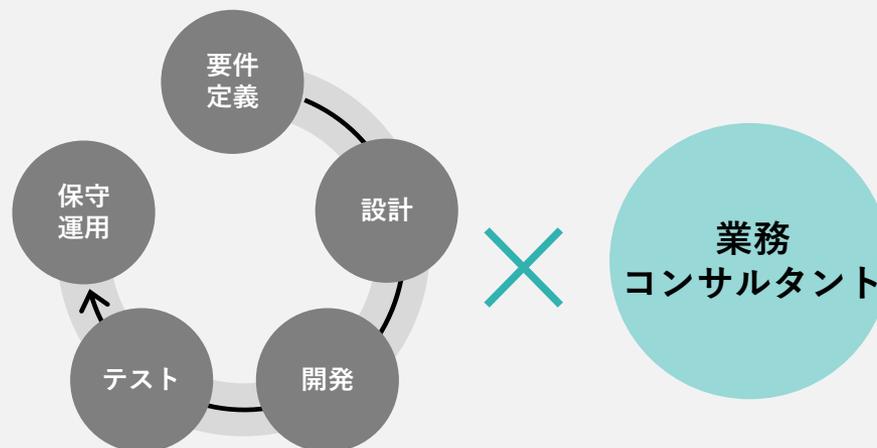
必要に応じて分割払いにできるため  
スムーズな賃貸借契約が締結可能に

※「BunChinPAY」は「入居一時金のWEBクレジット」サービスの、システムソフト・SS Technologies における名称です。  
本サービスは、アプラスのショッピングクレジットへの申込となり、ご利用にあたっては審査がございます。

## 開発から保守・運営まで一気通貫のサービスを幅広い業種のユーザーニーズに合わせて提供

### ワンストップサービス×コンサル

一般的なシステム開発の工程に、長年の経験やノウハウ、ナレッジ等からなるコンサルティングの強みを乗ずることで、より顧客満足度の高い開発が可能



### 導入企業一例



銀行

#### 規定集管理システム

行内で利用される大量の規定やマニュアルを電子化。

業務効率向上とコスト削減に貢献。



損害保険

#### 基幹業務システム

ホストシステムを中心とした基幹業務システム。

安定性と正確さが求められる高度なシステムの構築。



小売・販売

#### ECサイト構築システム

プロジェクトや商品追加、在庫管理、アクセス解析による効果測定まで可能なパッケージ。



メーカー

#### 営業支援システム

営業活動や成績を管理し、より効果的な営業・経営戦略の策定に活用可能なシステム。



学校法人

#### 学事支援システム

学校のホームページをはじめ、単位取得状況や休校・補講情報のお知らせなどが可能なポータルシステム。

2023年9月期  
**業績予想**

---

## 2023年9月期 業績予想

テクノロジー事業におけるシステム開発の一部を  
コンサルティングによる参画に変更したことに伴い、売上高を下方修正  
営業利益以下は計画通りの見込み

(単位：百万円)	2022年9月期 実績	2023年9月期 修正予想	2023年9月期 従来予想
売上高	4,704	<b>3,800</b>	4,400
営業利益	382	<b>310</b>	310
経常利益	377	<b>220</b>	220
親会社株主に帰属する 当期純利益	201	<b>110</b>	110

## 1. SaaS事業の強化

- サービス利用企業、拠点の拡大による**シェア拡大**
- 新サービスの開発、開始による**ラインナップの拡充**

## 2. 収益基盤の拡大

- 積極的な営業活動及びマーケティングによる**新規顧客の開拓**
- 顧客ニーズの素早い汲み取りによる**既存顧客のアップセル**

### 重要施策の推進を目指した基盤づくり

#### 人材投資

- 新卒および即戦力となる高度人材の採用強化
- 研修を含む育成プログラムの最適化、効率化
- 事業ポートフォリオ変革に伴う適切な再配置

#### コーポレートガバナンスの強化

# Appendix

---

# STRATEGY

## テクノロジー

様々な種類のSaaSを展開、  
高いシェアを獲得

サービスの質を高め  
有料プランのリリース

## オープン イノベーション

日本最大級1万人を超える  
fabbit会員との提携・協業

主にSaaS技術や  
ビジネスモデルの取り込み

新たな価値を。

テクノロジーと  
オープンイノベーションで  
社会のDXを推進

事業拡大・  
企業価値向上を  
目指す

現在

成長ドライバー

SaaS・RPA事業

安定収益基盤

システム開発・ソリューション事業

テクノロジー



連携



連携



オープンイノベーション

多業種からなる会員規模との連携拡大  
当社サービスを拡充・強化すると共に、新規ビジネス領域に参入

Technology × Open Innovation

**Systemsoft**

本資料は、株式会社システムソフト（以下、「当社」といいます）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。また、本資料に記載されている計画や見通しは作成時点における情報に基づき当社が判断し予測したものです。今後の経営環境の変化により、計画や見通しが大きく変動する場合があります。その場合には本発表の内容の更新・修正の義務は負うものではありません。以上を踏まえ、投資家の皆様にはご自身のご判断にて投資くださいますようお願い申し上げます。